

令和元年度 柳町地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・柳町地域ケアプラザの対応エリア内の高齢化率は上昇しており、支えあいの仕組みづくりが必要である。それぞれの地区では多世代の交流に向けての取り組みに工夫をしている。更に地域での活動が進み、一人一人がこの地域で元気に暮らせる街づくりの後方支援をしていく。
 ・様々なハンデを持つ方も一緒に過ごせる地域となるよう感謝祭を通して周知・広報をしていく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ 地域の実情に応じながら、介護予防を重視した講座を開催する

■ 区が作成したエンディングノート「これから」を地域住民が有効活用できるよう周知・配布する。

■ 民生委員とケアマネジャー同士顔の見える関係性を構築できるよう交流会を実施する。

■ 対応エリア内へ積極的に出ていき、自分たちの目を使っての情報収集を続けていく。

■ 感謝祭開催に伴い、各事業所と連絡調整を行い、来所したくなる企画を検討していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域の集まりに顔を出すことで繋がりが増し、様々な取り組みについて達成することができた。それぞれの地域の実情を知り、情報収集をすることで適切な時期にケアプラザが後方支援に回れるよう関わりを続けたい。
 エンディングノート「これから」についてもケアプラザが実施する事業で配布をし周知する機会となった。次年度は実際に一緒に書きながら地域の方の感想等を確認し今後につなげていきたい。
 感謝祭では近隣の事業所だけでなく、RUN伴+三浦半島を主催する学生とも連携をすることができ、多くの方との交流ができた。

区からのコメント

地域に向かうことで、相談窓口としての地域ケアプラザの役割を周知することを図れています。また、相談に対しては、相談内容に応じて適切な連携機関に繋がっています。
 また顔の見える関係の構築を意識して、地域の活動団体の検討の場や活動に参加することで、活動団体のネットワークの構築に向けた支援も行っています。
 今後も地域の社会資源を有効活用した取組や、大学生と地域の活動団体が円滑な連携が図れるような支援を行って頂きたいと考えています。